

「気になる生徒」はどこにいますか？

「総合評価による人員構成一覧表」で探してください。
内田クレペリン検査からみて「気になる生徒」は特に右下の にいます。
先生から見て「気になる生徒」はどこにいますか？

特に問題なし

好きな勉強、得意な科目では優秀な成績が期待されます。自分なりの学習法を見つけることで、より成果をあげることもできるでしょう。

クラスやグループ内でも個性が活かされて、それぞれの役割でグループやクラス全体を形づくっていくメンバーです。クラスのリーダーや、世話役、まとめ役もこの中にいる可能性が高いです。特に問題のないグループですが、もしも学習や行動、適応面で気になる（問題が生じた）場合は、本人自身の問題よりも家庭環境や友人関係に原因があることが考えられます。

内田クレペリン検査 総合評価による人員構成一覧表

株式会社 日本・精神技術研究所 〒102-0074 東京都千代田区丸の内2-3-27 丸の内ビル3階 TEL 03-3234-2961 FAX 03-3234-2964 http://www.uktest.jp http://www.negk.co.jp

年月日 NO. 科 年 組

	1	2	3	4	5	6	7
1 気にならぬ	aa	ab	ac	ad	ae	af	ag
2 気にならぬ	ab	bb	bc	bd	be	bf	bg
3 気にならぬ	ac	bc	cc	cd	ce	cf	cg
4 気にならぬ	ad	bd	cd	dd	de	df	dg
5 気にならぬ	ae	be	ce	de	ee	ef	eg
6 気にならぬ	af	bf	cf	df	ef	ff	fg
7 気にならぬ	ag	bg	cg	dg	eg	fg	gg

 特に問題なし
 学習の遅れに注意
 適応・行動・学習の遅れ・能力・態度に注意
 学習の遅れと適応や行動両方に注意
 適応・行動・学習の遅れ・能力・態度に注意
 適応・行動・学習の遅れ・能力・態度に注意

※このグループは、総合評価の高度定型～重度非定型の5群とは分類の仕方が違っていません。
このグループは、学校現場の中で「気になる生徒」という視点からとらえ直したものです。
※このグループは、総合評価の高度定型～重度非定型の5群とは分類の仕方が違っていません。
このグループは、学校現場の中で「気になる生徒」という視点からとらえ直したものです。

検査のやり方に不備があるため、結果をお出しすることができません。
判定基準が異なるため人員構成の分類はできません。

適応や行動に注意

クラスやグループ内で個性の強さが目立ちます。奇抜なアイデアや独自のルール、感性で存在感を示します。時には個性の強さが仲間との協調を損ね、トラブルを引き起こすこともあるでしょう。あるいは一匹狼、傍観者といった存在になる可能性もあります。集団への不適応や行動上の問題が見られる場合には、個別の指導も必要です。能力面は高いレベルにありますが、興味関心の幅が狭くなり、好きなことには熱中するがそれ以外は見向きもしないなど、成績にムラが多くなります。「好きなこと」が見つけれないと学習全般に意欲ややる気を失ってしまうかもしれません。集中力、気力不足のために本来の能力が発揮されないことも考えられます。



適応や行動・学習の遅れ・能力・態度に要注意

このグループの特徴は、性格や行動の特徴に著しいかたよりやバランスの乱れがある、あるいは能力面での著しい不足がみられる、ということです。この乱れの原因はさまざまです。一時的なものかもしれません。あるいは生徒からのメッセージ、「ヘルプ」のサインかもしれません。個別の対応、指導が必要です。

要因として考えられるのは

- ① 能力面が著しく低調で、発達の遅滞が疑われる場合。(枠の中でも下方のd, dpに名前がある。)
- ② 性格や行動のおおもとの働き(気質に近いもの)が原因となっている場合。やむを得ず出てしまう行動や個性の特徴がかなり強いので、集団への適応に問題を生じやすいことが考えられます。孤立していないか、精神的に不安定になっていないか、など注意が必要です。
- ③ 受検態度が原因である場合。受検時の一時的なものかもしれませんが、普段から学校生活や先生に対する態度に問題はありませんか？ 反抗的態度や無気力無関心、なげやりの態度がそのまま乱れとなって現れている可能性があります。

生徒が抱えている問題が何かは、この検査だけではわかりません。普段の生徒の様子と考え合わせて、生徒を理解する必要があります。



学習の遅れに注意

学習、課題はゆっくりとしたテンポで進めていくほうがよいでしょう。今後、成績の向上も期待されますが、遅れをとらないよう注意したいところです。自分のペースでひとつひとつ積み上げて学習を進めることが望ましいでしょう。これからの発達が著しい中学生では、今後、能力面が向上することが大いに期待されます。

クラスやグループ内では、個性もほどよく認められ、メンバーとしての役割を果たせるでしょう。集団への適応は良好です。

学習の遅れと適応や行動両方に注意

課題の理解や学習に時間がかかり、授業についていけなくなることが懸念されます。自信を失い、気力不足にならないよう注意する必要があります。クラスやグループ内では、自己主張がうまくできないために仲間関係が作れず、いじめの対象になる場合もあるかもしれません。また逆に集団行動を乱す、逸脱した行為等、トラブルを起こすこともあるかもしれません。生徒の抱えている問題に対しては個別の対応・指導が必要です。

